

今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2016年11月9日]

11月の農業情報

タイトル 輪菊の国産シェア奪還に向けたプロジェクトが始動

とき 平成28年10月18日(火)

ところ 田原市

主体・対象 JA愛知みなみ(輪菊部会員823名)

内容

本年度から3年間、(国研)農研機構が愛知県等と行う革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト)「きく類生産・流通イノベーションによる国産シェア奪還」が実施されている。この事業の中で、輪ギクについては、課題名「国際化に対応した輪ギク生産・流通の実証」のもと、農業総合試験場東三河農業研究所、田原農業改良普及課、JA愛知みなみ、JAあいち経済連、有限会社今村機械が連携して取り組んでいる。

輪ギクにおける課題の目的は、近年増加している仏花用切り花の輸入を阻止するため、70cmの切り花を下部から40cm脱葉し、実需者の手間とゴミ処理が減る付加価値商品を開発して、市場への普及と栽培拡大を図ることである。

農業改良普及課は、農業総合試験場東三河農業研究所と連携して、年3.5作(1作の栽培期間85日、草丈75cmでの収穫を目指す)の短茎栽培技術を確立する。初年度の試験として、定植から消灯までの期間を通常55日前後から35日に短縮した栽培方法を実証するため、実証ほを10月18日に設置した。

今後、生育調査等を行い、短茎栽培技術の実証を行う。